

北名古屋市議会議員

くまざわ真澄

市政レポート

令和3年10月号



ご挨拶

地域のみなさまにおかれましては、日頃より、くまざわ真澄の議員活動に対し、格別のご理解とご支援を賜りまして誠にありがとうございます。北名古屋市議会議員として3年が経過しました。私はこれまで、地域の絆を大切に、地域と行政をつなぐパイプ役として、子どもからお年寄りまで笑いが絶えない、活力あるまちをめざしてきました。

これからも、絆・行動力・活力をテーマに、将来子どもたちに借金を増やさず、限りある財源を有効に活用し、地域の安全・安心、子どもからお年寄りまで、生きがいを持って暮らせるまちを目指してまいります。

さて、コロナの影響により、普段からの生活が一変し、多くの方々が困惑し不安な中、生活を送ることとなってしまいました。まだまだ不安な状況は続いておりますが、個々のできることに最大限の努力をしていただき、行政は市民の不安を少しでも取り払う政策に取組み、事態が収束へと向かうよう一体となって、この困難な状況を乗り越え、新しい文化・生き方が生まれることを期待します。

最後に、このたび「市政レポート」を作成いたしました、みなさまからのご意見・ご要望を頂きながら、北名古屋市や地域発展のために、これからも日々努力をしてまいりますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

北名古屋市議会議員 くまざわ真澄

議会報告

令和元年第2回定例会～令和3年第3回定例会までの本会議において8回、14項目の一般質問をいたしました。今回はその内、代表的な3項目をご案内いたします。

子育て支援センターの相談・支援について（令和3年第3回定例会にて一般質問）

県では昨年、モデル事業として、拠点型の「待つ支援」から訪問型の「届ける支援」を目指して「家庭訪問型子育て支援『ホームスタート』の取組」を始めている。

- ① コロナ禍で増える子育ての悩みに対し、今後子育て支援センターなどどう運営されるのか。
- ② 子育て支援センターの運営にあたり親の意見およびニーズを踏まえた見直しを進める考えは。
- ③ 親のニーズや、参加者以外の親の意見の把握方法は。
- ④ 本市も 県モデル事業『ホームスタート』に取り組む考えは。

児童課長

- ① コロナ禍によって生じた心のケアも含め事業を継続していく。
- ② 日頃から寄せられる意見や情報をもとに事業を展開しており、利便性の向上、利用者増加に向け、積極的に情報を発信していく。



- ③ 事業計画策定時のアンケートや電話相談等で聞き取った意見、要望を収集し、ニーズの把握に務めている。
- ④ 既存の事業で賄うことができるため実施予定はないが、支援の繋がり・連携の工夫を重ね、委託訪問支援事業の必要性を研究し、利用者に寄り添った事業が展開できるよう努力する。

認知症施策の現状と対応について（令和2年第4回定例会にて一般質問）

認知症の高齢者は2025年には約700万人に達すると推計されており、65歳以上の高齢者の5分の1に相当すると言われている。認知症の方やその家族を地域・行政がどのように支えていくか考えなければいけない。

- ① 認知症施策全般の現状と対応は。
- ② 認知症の方の家族への支援や取組は。
- ③ 認知症の方が住み慣れた地域で生活を続けていくための対策及び対応は。
- ④ 今後増加する認知症の高齢者に対応する介護職員数の確保等の対策は。
- ⑤ 地域包括支援センターなどの身近な相談場所における今後の体制は。



福祉部次長

- ① 認知症サポーター養成講座や講演会による啓発とともに、回想法、体操教室などを実施し、予防活動を推進している。
- ② 介護者家族のリフレッシュや情報交換等を目的とした取組や、認知症初期集中支援チームによる適切な支援を行っている。
- ③ 地域住民や民間企業との協定による見守り活動等によって、認知症が疑われる方の早期把握、早期支援につなげる体制の整備を進めている。
- ④ 厚生労働省が実施している人材確保のための対策に協力をしていく。
- ⑤ 今後増加する認知症高齢者を支えるためには、身近な場所に包括支援センターがあり、そこを主軸として相談・支援とともに、住民と一緒に地域づくりに取り組むことが必要だと考える。

健康診査について（令和2年第3回定例会にて一般質問）

市が行っているがん検診、特定健診など各種健診の参加者を増やすためには、保健師を通じて地域ぐるみで健康づくりに取り組む担い手を育て、担い手の活動が地域に貢献できる環境・組織づくりが重要だと考える。

- ① 健診の対象者数、受診者数・受診率は。また健診の参加者を増やすため、対象者に対して、どのようなPRを行っているか。
- ② 保健師の地域での活動を通じて受診者は増やせないか。また受診しやすくするために、オプション検査以外の自己負担額を500円にするなどの見直しはできないか。

市民健康部次長

- ① 令和元年度の特定健診は対象者1万1,397人、受診者数3,998人、受診率35.1%となっている。対象者に対しては、健診ガイドの個別通知、無料で受診できるクーポンや未受診者への勧奨などを行っている。
- ② 保健師は、家庭訪問や電話相談を実施し、受診率向上を目指している。自己負担額の見直しについては、財政的に厳しい状況ではあるが、厚生労働省が示す科学的根拠に基づき、対象年齢、受診勧誘、啓発方法と併せて総合的に検討する。



現場レポート



安全性、快適性を確保するため、老朽化した生活道路の改修工事を行った。

(井瀬木地区)



安全で快適な交通機能の確保と健全な市街地形成を図るため、都市計画道路の整備を行った。

(高田寺地区)



北名古屋市の東に位置する、合瀬川堤防に手軽にウォーキングが楽しめる、遊歩道の整備を行った。

今後も老朽化した生活道路の改修及び健全な市街地を形成するための歩道整備、また市民の憩いの場としての遊歩道の整備など早期に着手できるよう、行政に働きかけていきます。

お店&地域で活動する団体をご紹介します

くまざわ真澄議員のホームページで地域のお店、活動する団体などを動画で紹介しています。

ぜひご覧ください。<http://kumazawa-m.net>



たこ焼き 太たこ（おおたこ）



めん処 やぶ義（やぶよし）



ヘアサロン フォルトゥーナ



ペットショップ ワンコレクティブ

あなたのお店、チーム、団体をビデオ撮影させてください。撮影料は無料です。

詳しくは、info@schita-tv.com までお問い合わせください。

くまざわ真澄プロフィール

熊澤真澄（くまざわますみ）昭和31年6月13日生まれ（65歳）

師勝小学校、師勝中学校、名城大学附属高等学校、名城大学土木工学科を卒業

師勝役場入庁 土木課、税務課など

北名古屋市役所 秘書室長・税務課長・教育部副参事を歴任

平成29年3月 北名古屋市役所を退職

平成30年4月 北名古屋市議会議員選挙に立候補 当選（現在1期目）

発行元：くまざわ真澄後援会

北名古屋市井瀬木1029番地 TEL 090-4449-2918 令和3年10月吉日発行